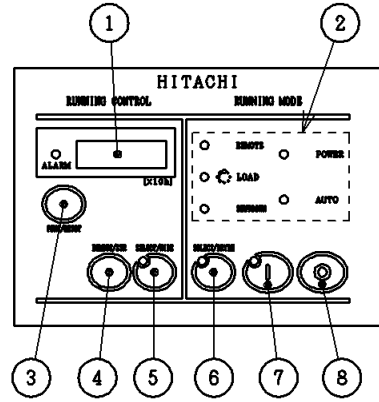
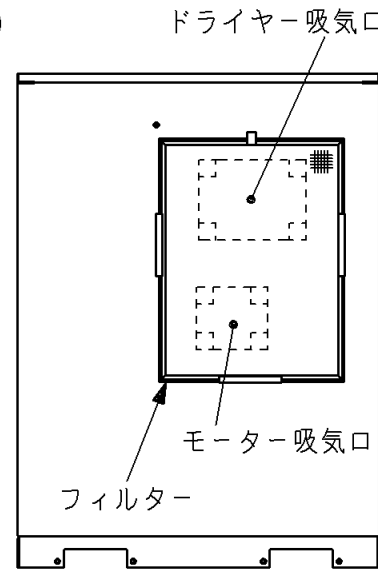
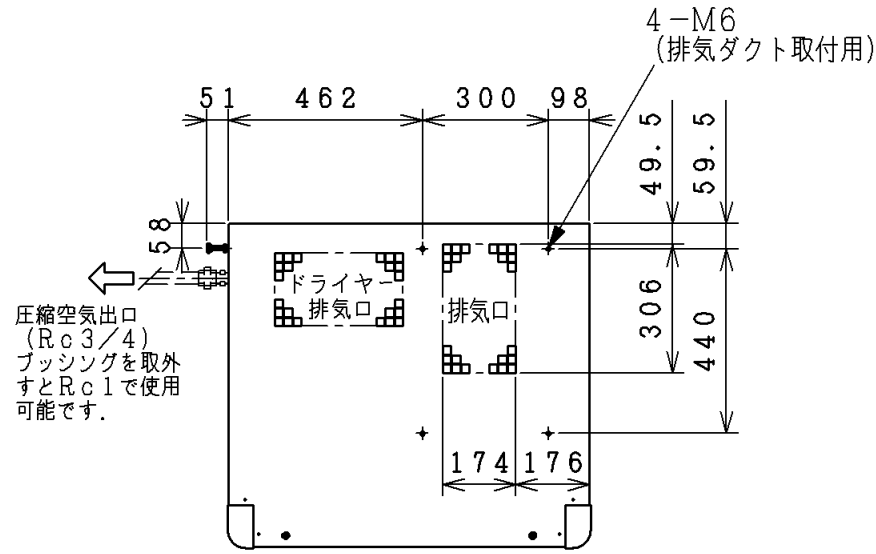


349S20706

計器パネル



記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理 (リセット)	6	表示切替/ドライヤースイッチ
2	運転状況	7	運転スイッチ
3	リセットスイッチ	8	停止スイッチ
4	遠方設定スイッチ		
5	表示切替/ワイドモードスイッチ		



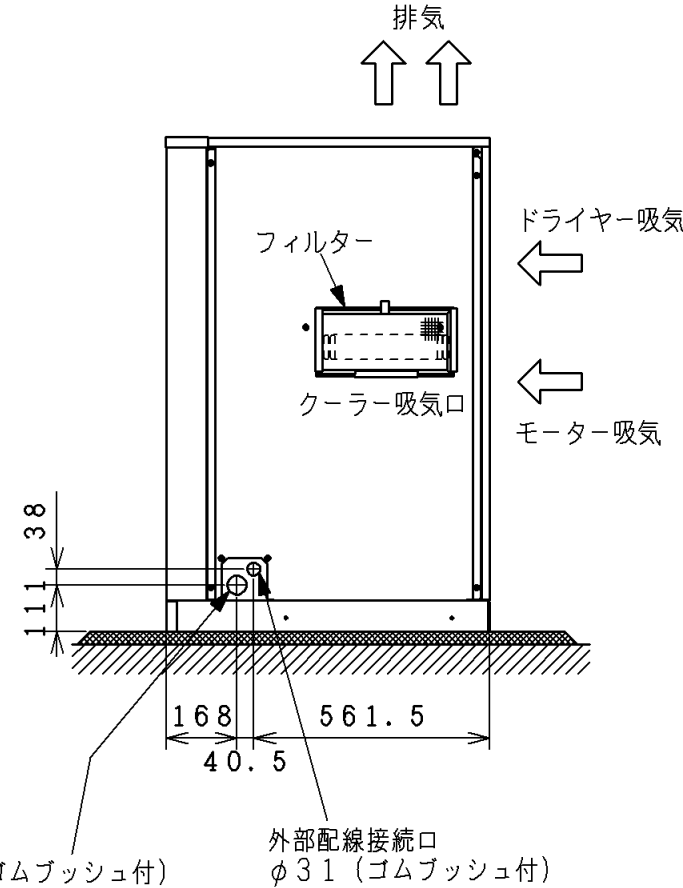
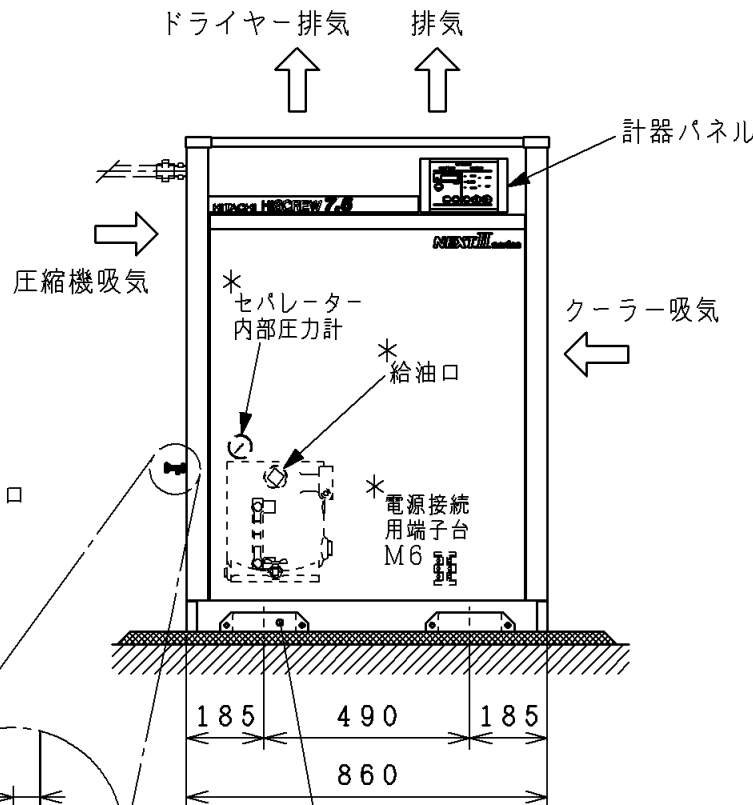
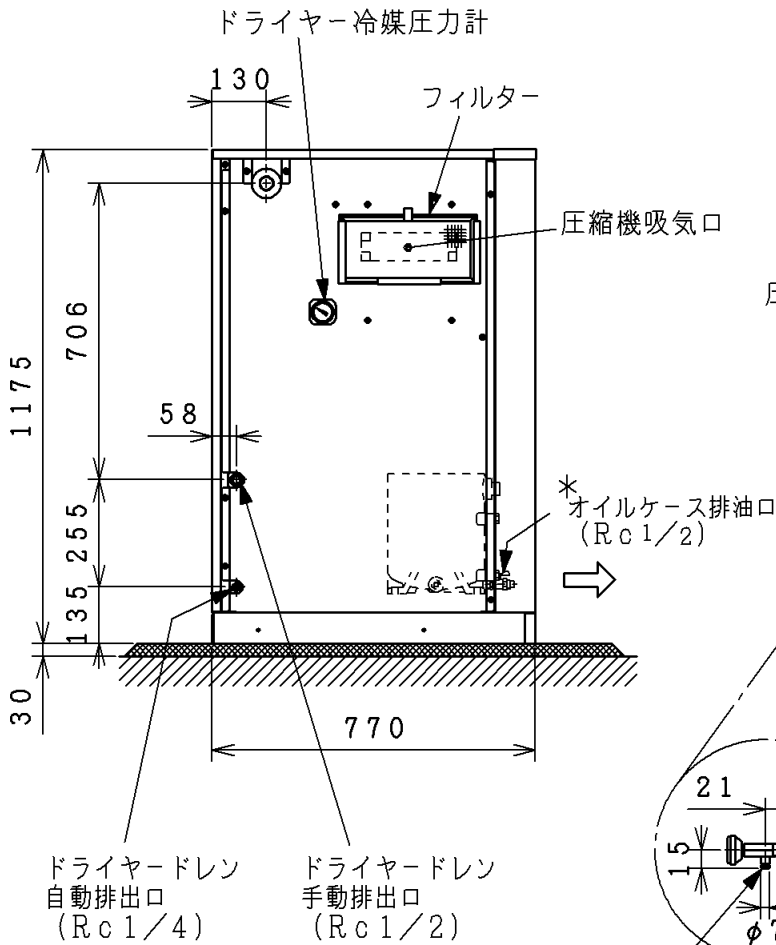
【背面図】

仕様	型 式	OSP-7.5M5ARN2	OSP-7.5M6ARN2
吐出し圧力【ゲージ圧力】	MPa	0.7/0.83/0.92	
吐出し空気量	m ³ /min	1.17/1.05/0.96	
露点温度	℃	2~45	
主モーター公称出力	kW	7.5【全閉外扇】	
電源電圧	V	展開接続図参照	
電源周波数	Hz	50	60
必要換気風量	m ³ /min	99以上	
電源トランス容量 (kVA)		200V級 30以上	
		400V級 30以上	
電源ケーブル太さ (mm ²)		200V級 8以上 最大 14 (2)	
		400V級 3.5以上 最大 5.5 (2)	
ドライヤー出口露点 (3)	℃	10 (圧力下)	
冷凍機公称出力	kW	0.3	
質 量	kg	315	

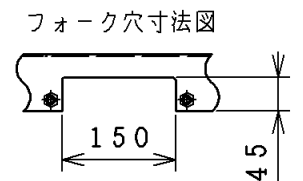
注1. 吐出し空気量は吐出し圧力時に吐出す空気量を吸込み状態 (大気圧) に換算した値です。吐出し空気量の保証値については別途ご契約ください。
 注2. 配線長さが10m以下の値です。10mを超えるときは、より太いケーブルが必要です。その際、中継端子等により圧縮機側では最大値以下になるようにしてください。
 注3. 出口露点は周囲温度30℃の条件における値です。

ご注意

- 本機は空冷機ですので、狭い建屋に据付けますと、露点温度が上昇します。露点温度が45℃を超える場合は、圧縮機1台あたり表の換気風量以上の換気扇を取付けてください。
- 据付時は、別図面 [据付・配管上のご注意] に示すメンテナンススペースと、吸気口から熱気、塵埃が入らないよう考慮して、据付位置を決めてください。
- 圧縮機は、床面が平滑な所に水平に据付けてください。
- 通常は、基礎への取り付けは不要ですが、基礎打ちをする場合は、別図面 [基礎ボルト位置図] をご参照ください。
- 地耐力が1 t o n / m²未満の地盤では、基礎部に厚さ150 mmの張出しを設け、底面荷重【全荷重 (本体+基礎) / 基礎底面積】を地耐力の1/1.3以下にするか、または杭打をして地耐力を増強してください。
- 破線部の配管材は、貴社にてご用意ください。また、吐出配管において圧縮空気が冷却されますと、ドレンが発生しますので、配管末端には必ずドレン排出バルブを設けてください。
- 始動盤には、漏電遮断器 (ELB) は含まれていませんので、貴社にてご用意ください。なお、ELBは日立製をご使用ください。
- 必ず“アース”を取付けてください。接続口は始動盤内にあります。アース線の太さは5.5mm²、接地工事は、100Ω以下のD種接地としてください。電源電圧が400Vの場合は、10Ω以下のC種接地としてください。
- 電源配線を立上げる場合は圧縮機右側面のカバーが分解できるよう500mm以上離してから立上げてください。
- 必ず屋内に据付けてください。
- 電源電圧400V級の場合、ドライヤー用トランスが付属となります。トランス外形寸法は別図面 [ドライヤー用トランス外形図] をご参照ください。
- *印はパッケージ内部の部品です。
- 吸気フィルターにダストが溜まると吐出温度高など、故障の原因となります。定期的にフィルターを清掃してください。



電源接続口φ45 (ゴムブッシュ付) 圧縮機の電源引き込みは配線が剥き出しにならないよう、電線管にて施工してください。また、始動盤内配線施工時は、配線通過穴部に必ず保護ブッシュを設け、配線を保護するようにしてください。

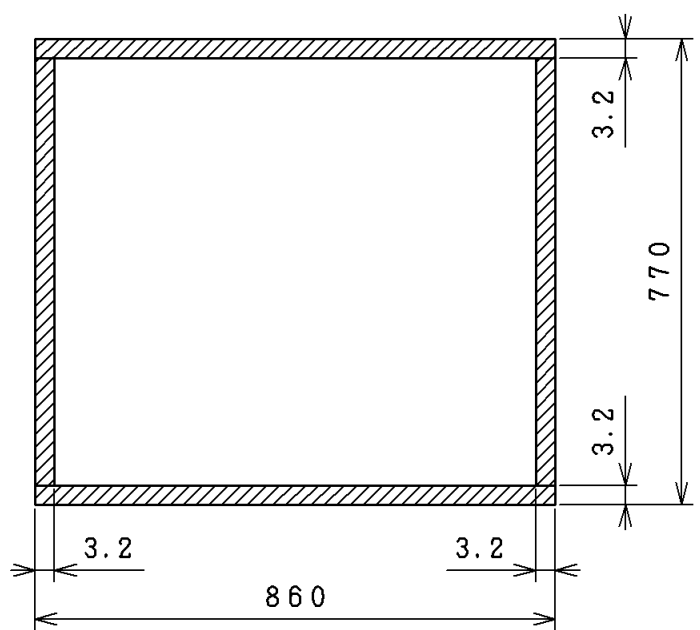


ドライヤー排水自動排出口 (Rc1/4) ドライヤー排水手動排出口 (Rc1/2) ドライヤー排水手動排出口 (ホース口金φ7) ピーコックは付属品として納入しますので、必要に応じて、図のように取付けて下さい。取付後ピーコックは「閉」にしてください。

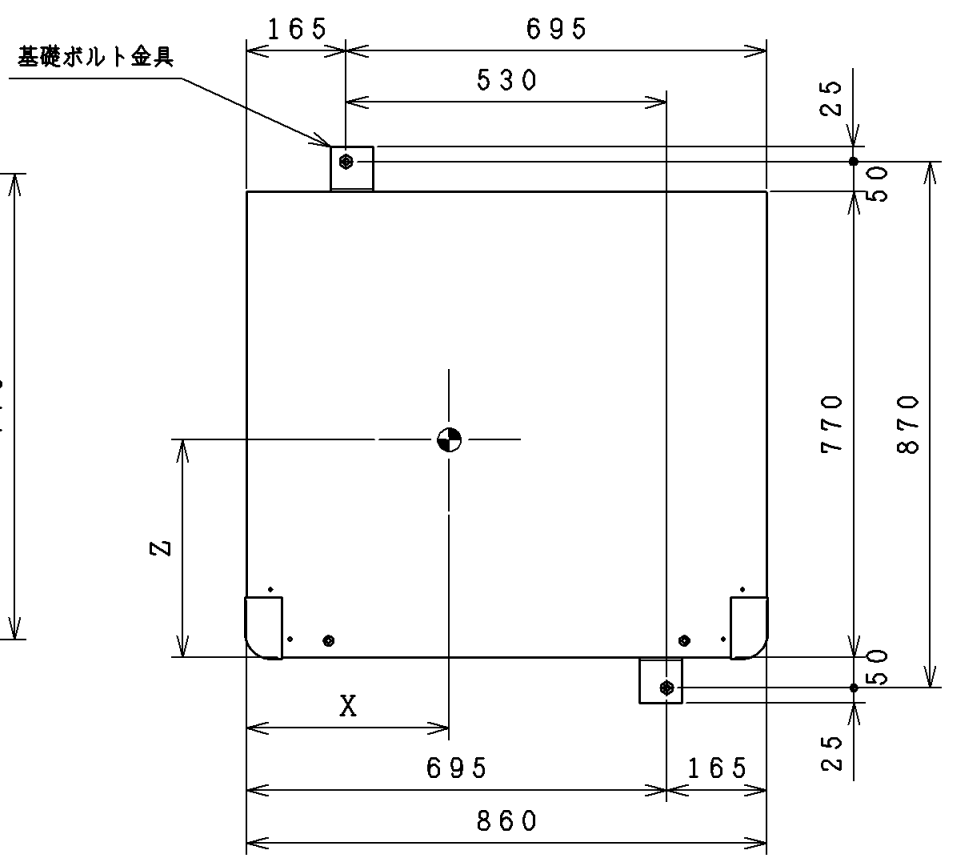
記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
	来 歴			

製図	スズキ, キ	2015-02-25	株式会社 日立産機システム	清水図番 349S20706	校査	訂正	入庫
審査	サイトウ, ノ	2015-02-25					
承認	サイトウ, ノ	2015-02-25					

349S20717



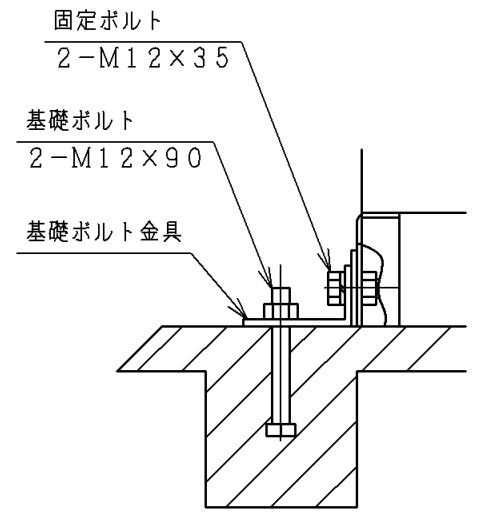
コモンベース接地面



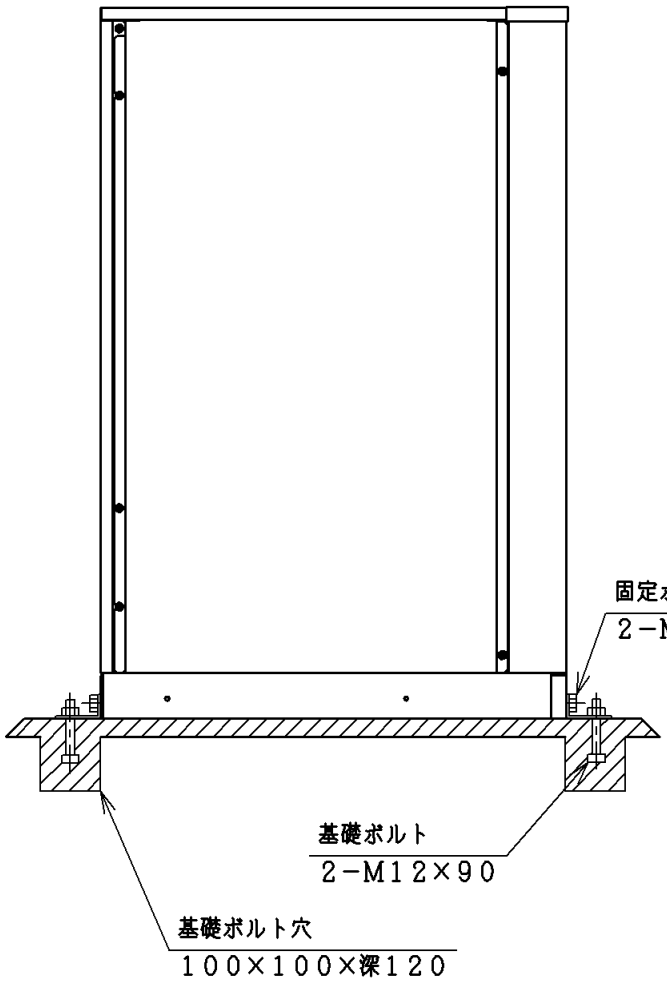
- ご注意
1. 水平床面に据付けてください。
(水平度は6/1000未満としてください。)
 2. 通常は基礎への取付けは不要ですが、基礎打ちする場合には、フォークリフト運搬穴用防音板に基礎ボルト金具を付属のM12×35Lの固定ボルトで取付け、M12×90Lの基礎ボルトで固定してください。
ただし、基礎ボルト取付け専用防音板、基礎ボルト金具、基礎ボルトM12×90L (M12ナット付)、固定ボルトM12×35L (パネ座金付) は、オプション扱いとなります。
 3. モルタルは、ユニットが水平になる様に施工してください。コモンベース下部と基礎面は、隙間無く接するようにモルタルを充填してください。
平坦な床面に直接据付けて運転することもできますが、圧縮機の振動が大きくなったり、騒音値が高くなる場合があります。
 4. スキッドベース上に据付ける場合は、コモンベース底面図を参考にしてハッチング部がスキッドベースと全面で接するようにしてください。
この場合、スキッドベースの構造や、床面との隙間等により圧縮機の振動が大きくなったり、騒音値が高くなる場合がありますのでご注意ください。

●: 重心位置
重心位置寸法

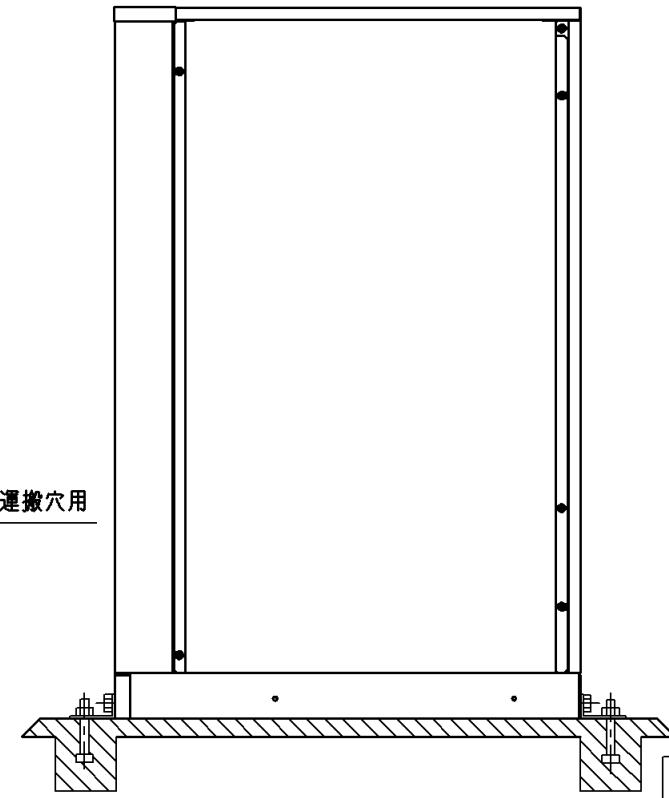
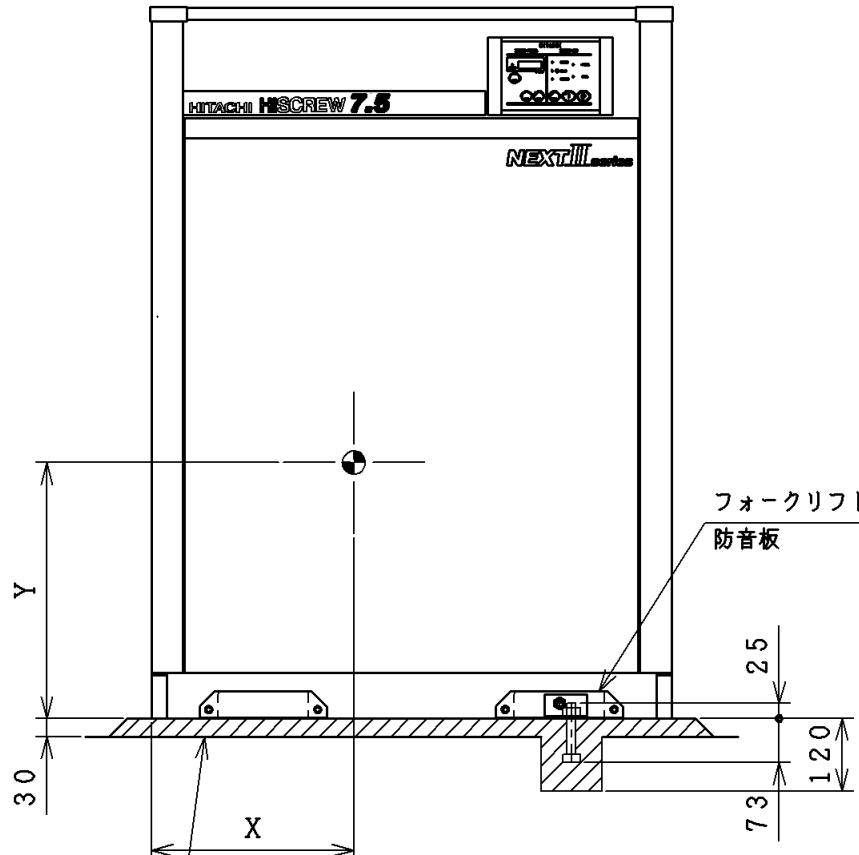
機種	X	Y	Z
OSP-7.5AN2	340	365	390
OSP-7.5ARN2	335	395	405



基礎ボルト部拡大図



コモンベースと床面の間にモルタルを充填してください。



記号	2016-09-14	カゲヤマ,フ	サイトウ,ノ	サイトウ,ノ
	文章追加			
備考	年月日	訂正者	審査者	承認者
	来歴			

備考	品名	投影法	尺度
	HITACHI HSCREW NEXT II 基礎ボルト位置図		NTS

製図	スズキ,キ	2015-02-25	株式会社 日立産機システム	清水図番 349S20717	校審	訂正 1	入庫 2016 09-15
審査	サイトウ,ノ	2015-02-25					
承認	サイトウ,ノ	2015-02-25					

適用機種
OSP-7.5MA (R) N2
OSP-7.5VA (R) N2